

《肥料の施肥例》

収穫が早いので全量元肥施肥とする。
下記の薬剤も一緒に土壌混和しよう♪

◎元肥 (1㎡当たり)

おいしい菜園 → 100g

他に…トヨクween(石灰) → 120g

吟遊詩人(バーク堆肥) → 1kg

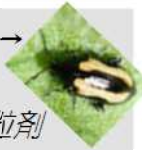
◎追肥 (1㎡当たりの1回の量)

おいしい菜園 → 20g※

※ほうれんそうと同様、生育が旺盛な高温期は追肥を避け、葉色がさめたり生育が遅れている場合に追肥(葉面散布可能)する。

●主な病害虫防除剤● キスジノミハシ

- ・土中害虫駆除＝ダイアジノン粒剤
- ・幼苗～生育初期殺虫剤＝アルバリン粒剤
- ・根こぶ病殺菌剤＝オラクル粉剤
- ・生育期殺虫剤＝アフーム乳剤 他



この肥料の特徴

栗のような形状で水に溶いて液肥にもでき、土を荒らさない安心して安全な中性化成肥料。速効性だが元肥・追肥両方に使用できる。



▶特徴と栽培のポイント

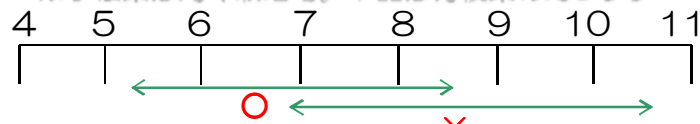
どちらもアブラナ科の野菜で、カルシウムやカロテンが豊富(小松菜は鉄分も多い)でアクが少なく食べやすいのが特徴です。

実は「ふくたち」としても美味で、野菜の少ない春先に大変重宝されていますが、春まきの場合は特に害虫被害に遭いやすいのでしっかり対策をしましょう!

▶栽培カレンダー

○播種 ×収穫

※小松菜は周年栽培可。下記は青梗菜のカレンダー



品種にもよりますので、播種期や収穫時期は種袋等で確認して下さい。畝立ての際は左記の薬剤を肥料と一緒に必ず混和しましょう。

発芽後は本葉5枚頃までに間引きを2回程行い十分な株間を確保します。収穫間近は白さび病に注意し、草丈20~25cmで収穫です。

ふくたちにする場合は10月中下旬に播種し本葉が数枚出た頃に降雪を迎えます。雪解け後にとう立ちした茎とつぼみは甘く歯ざわりが良く食味抜群!ぜひお試しを…♪

《人気の品種》

●小松菜「菜々美」

春作から秋採りまで特に夏場の栽培にも向く。茎と葉のバランスが良く、葉柄がしなやかで揃いが良いので出荷作業が楽♪白サビ病に強く家庭菜園にも最適!



●チンゲンサイ



アブラナ科の中でも比較的暑さに強く、夏場の生育も良い(夏期30日、春秋40~50日で収穫)。また加熱後も鮮やかな発色は変わらず肉厚です。

簡単ヘルシー♪ 絶品!小松菜・青梗菜レシピ 栄養満点!「青菜と塩昆布の塩麴白和え」

材料>葉物野菜130g
豆腐100g、塩コンブ5g、塩麴/小さじ1、塩/ひとつまみ、ごま少々(白・黒お好みで)



- ①小松菜と青梗菜を湯がき、水気をしぼって食べやすい大きさに切る。豆腐も水切りしておく。
- ②ボウルに豆腐を潰し入れ、塩コンブ等(網掛けの調味料)を入れ味を調えたら青菜と絡めて盛りつけ、最後にごまを振って出来上がり♪